

事前評価チェックシート

計画の名称： 地域固有の歴史的景観と魅力を活かしたまちづくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 景観形成を図るべき地域として位置付けられている又は位置付けられる予定である。（地域名称等：竹田・長湯 景観形成地区）	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅・建築ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 ・既存住宅ストックの有効活用 ・まちなか居住の推進	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 ・良好な住環境の整備 ・地域の特色ある街並みの整備	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。 ・	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 計画内容に関し、住民に対する事前説明が行われている。	○
III. 計画の実現可能性 事業の実施に当たり、自治会、商店組合など地元組織との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 計画期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○